



# us・アス びん。『~ともに ささえあうために~』

## クラウドソーシング活用講座

令和3年2月19日(金) オンライン講座

講師 NPO法人コムラボ 代表理事 山田 雅俊 氏

クラウドソーシングとは、インターネットを活用し、仕事の受発注を行う新しい仕組みです。子育てをしながらスキマ時間を利用して働きたい、在宅で仕事したい方におすすめです。

クラウドソーシングの基本的な仕組みや何から始めたら良いかが分かる入門講座を開催しました。

クラウドソーシングについてや取り組むべきポイント、シェアリングエコノミーについてもお話しいただきました。シェアリングエコノミーとは、インターネットを介して個人と個人の間で、使っていないモノ・場所・趣味特技などを貸し借りするサービスです。

### 受講された方の感想

○メリット、デメリットや仕事の内容、スタートするための手順なども伝えて下さり、わかりやすかった。

○オンラインでのコミュニケーション能力が必要なのが分かった。

○講座の中で中絶動という考えが印象的でした。仕事をする上で確かに必要なと感じます。自分はものづくりが好きなので、シェアリングエコノミーの方が向いていると思います。

○背中を押された感じ、前向きになりました。



## SDGsとは?

SDGsとは2015年に国連で採択された2030年までに達成をすべき目標「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs(エスディーゼス))」です。持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。

17の目標・169のターゲットから構成され、キーワードは「誰ひとり取り残さない」。

私たちが安定してこの世界で暮らしているために、一人ひとりができることを考え行動することが求められています。



## LGBT・SOGIとは?

### LGBT

Lesbian(レズビアン)、Gay(ゲイ)、Bisexual(バイセクシュアル)、Transgender(トランスジェンダー)の頭文字をとった単語で、セクシャル・マイノリティ(性的少数者)の総称のひとつです。

LGBT以外にも男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性を決められない・わからないなどさまざまな人々がいいます。

### SOGI(ソジ)

「Sexual Orientation and Gender Identity」の頭文字からとった言葉で日本語では「性的指向と性自認」を表します。すべての人の属性を表し、性の多様性を表しています。

LGBTより広い概念を指しており、近年、LGBTに代わり、SOGIという言葉で表現されることもあります。

誰もがいきいきと自分らしく生きられる社会のために多様性を認め合うことが大切です。

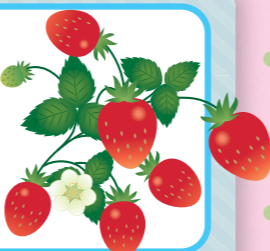
## 女性の地域活動推進セミナー

社会参画に必要なスキルと指導者としての資質の向上を目指します。主にまちづくり等地域のリーダーとして関心のあるテーマについてグループ研究・発表を行い理解を深め、演習等によりリーダーに求められるコミュニケーションスキルや地域活動の役割等を学びました。



### ~受講者の声~ 柴 喜代子さん

研修に参加させていただき、地域の活動の現状、男女共同参画、リーダーに求められること等多くを学ぶことができました。グループ研究では、「コロナ禍でのまちづくり」をテーマに仲間と共に実態調査・考察を行い貴重な経験になりました。これから地域での活動に活かしたいと思います。



## ●編集後記

おかげさまで、真岡市男女共同参画情報紙「us・アス」も第10号となりました。この情報紙を通して、より多くのおみなさんに「男女共同参画社会づくり」についてご理解をいただければ幸いです。

## 「男女共同参画」窓口のご案内

真岡市教育委員会 生涯学習課 女性青少年係  
時間:8:30~17:15(年末年始、土曜・日曜・祝日を除く)  
TEL:0285-82-7152  
FAX:0285-83-4070  
Mail:gakusyuu@city.moka.lg.jp



※令和3年4月1日より「男女共同参画」窓口が、生涯学習課から市民協働推進室に変更となります。

4月1日以降は市民協働推進室(0285-83-8141)にお問合せください。

【編集・発行】真岡市長 石坂 真一 〒321-4395 真岡市荒町5191 TEL:0285-82-7152 E-mail:gakusyuu@city.moka.lg.jp



## 真岡市男女共同参画推進事業者表彰およびカジダン・イクメンエピソード表彰式

令和2年12月22日(火)  
市公民館

令和2年12月22日(火)市公民館にて、「真岡市男女共同参画推進事業者表彰およびカジダン・イクメンエピソード表彰式」を行いました。

少子・高齢化による労働力不足が懸念される中、働きたい人が性別にかかわらずその能力を発揮でき、仕事と育児・介護などの家庭生活を両立できるようにすることは、将来にわたり活力ある経済・社会を維持するためにも非常に重要な課題となっています。

性別による固定的な役割意識の解消や男女平等の意識づくりを促進し、家庭・地域・職場において、いきいきと活躍する男女共同参画社会を実現するため、男女が互いに人権を尊重し、個性や能力を発揮できる社会づくりに取り組む市内事業者や、家事や育児、介護などを積極的に行う男性のエピソードや思いを募集し表彰しました。

今回、男女共同参画推進事業者表彰では、川崎運輸株式会社と有限会社浅香工務店の2事業者が、カジダン・イクメンエピソード表彰では船渡川未来さんが最優秀賞を受賞しました。

次のページから、事業者の取り組みや、カジダン・イクメンエピソード作品をご紹介します。



## 「us・アス第10号」の 主な内容

- ★真岡市男女共同参画推進事業者表彰およびカジダン・イクメンエピソード表彰式
- ★男女共同参画推進事業者の取組
- ★カジダン・イクメンエピソード表彰と作品紹介
- ★ちょこっベリーNews
  - ・男女共同参画地域座談会
  - ・DV防止講話
  - ・パパと子のふれあい遊び
- ★真岡とちひめ会
- ★クラウドソーシング活用講座
- ★SDGsとは?
- ★LGBT・SOGIとは?
- ★女性の地域活動推進セミナー



# 男女共同参画推進事業者表彰



## REPORT

この表彰は真岡市男女共同参画推進条例に基づき男女共同参画推進の取り組みを積極的に進めている事業所を表彰するもので、川崎運輸株式会社、有限会社浅香工務店の2事業者が受賞しました。被表彰事業者の主な取組を紹介します。



### 有限会社浅香工務店 (写真左)

建設業界の活性化のため性別に関わらず女性でもいきいきと働くことができるよう、資格取得支援等スキルアップの機会を与え、女性の新たな視点を活かして活躍できる環境づくりに努めています。  
 ○1級建築士や施工管理1級の資格を有した女性が活躍中(資格取得支援、育成)  
 ○男女お互いの特性をいかし実力が発揮できるような環境整備に努めている。  
 ○男女を問わず技術職として年齢や性別に関わりなく意見交換等業務を行っている。  
 ○良い建築物や構造物建設のために、適材適所で、男女互いに得意、不得意な部分を補完しあえる職場環境づくりに努めている。など

#### 受賞者のコメント

**有限会社浅香工務店 代表取締役 浅香 久雄 さん**  
 今回の事業者表彰を頂き誠にありがとうございます。今後共、女性が本来持っている素晴らしい能力を最大限に引き出し、男性と共にこれからの企業活動の中で十二分にその能力を発揮・活躍出来る環境づくりに努め社会貢献してまいりたいと考えます。これを機に、尚一層環境整備に努め高みを目指していきたいと思っております。

### 川崎運輸株式会社 (写真右)

男性の職業という印象が強い運送業において、女性の大型トラックドライバーが活躍し、だれもが安心していきいきと、自分のライフスタイルに合わせて働くことができ、能力を発揮できる職場づくりに取り組んでいます。  
 ○女性ドライバーが活躍しており、性別に関わらず能力が発揮できる職場づくりに取り組んでいる。  
 ○従業員のキャリアプランや年齢などに応じて異動や配置転換を柔軟に実施し女性だけでなくだれもが働きやすい職場環境をつくる。  
 ○意欲に応じて大型免許取得等資格取得補助を実施しキャリアアップ、スキルアップをサポートしている。  
 ○社内新聞を発行し、産休育休者を紹介し休みやすい環境づくりや、栄養コラム・体調管理等について掲載し、従業員の健康維持に取り組んでいる。など

#### 受賞者のコメント

**川崎運輸株式会社 専務取締役 眞崎 美代 さん**  
 弊社は、貨物運輸業務を北は東北青森、南は関西まで幅広く輸送を展開しております。物流業界も環境問題・エコドライブ・IT社会への対応などの様々な問題に取り組まなければならない時代になっています。運送業は女性が少ないという現状がありますが弊社は、積極的に女性採用に向けて取り組んでおり、現在3名の大型女性ドライバーが日々活躍しております。  
 また、社員の意見を汲み取る体制(社長と社員の個人面談)、有給休暇取得を社員に奨励し、配車調整で取得率が向上。社員の健康維持においても福利厚生での健康経営を視野に入れた医療面での充実。今後も公道を走行し仕事をさせていただいている感謝の気持ちを持ち、安全第一で輸送業務し、社員が安心して働ける環境づくりを目指し取り組んでいきたいと思っております。

**真岡市男女共同参画推進事業者表彰制度に応募(推薦)してください!!真岡市では、積極的に男女共同参画の推進のための取組を行っている事業者を表彰し、広く市民や事業者の皆さんに紹介します。**

\*詳しくは、生涯学習課へお問い合わせください。  
 ※令和3年4月1日より男女共同参画社会づくり業務は、生涯学習課から市民協働推進室に変更となります。4月1日以降は市民協働推進室(0285-83-8141)にお問合せください。

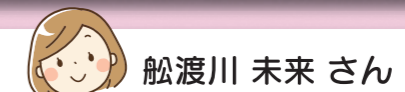
# カジダン・イクメンエピソード表彰



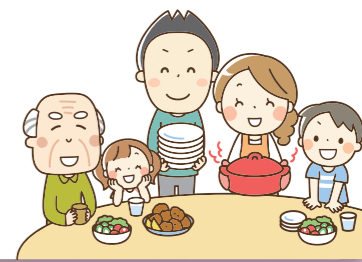
## REPORT

真岡市・真岡市PTA連絡協議会・真岡市子ども会育成会連絡協議会の共催で、家事や育児、介護などを積極的に行う、カジダンやイクメンのエピソードを募集し、表彰式を行いました。年齢や性別に関わらず、誰もが家庭、地域、職場においていきいきと活躍する男女共同参画社会の実現のためには、男女が共に協力して家事、育児、介護などを行うことが重要です。男性の家事参画のエピソードや感じたことなどを募集し表彰することで、男女共同参画の推進を図ることを目的としています。最優秀賞には、筋萎縮性側索硬化症(ALS)を患った父への介助をした夫のエピソードをつづった船渡川未来さんの作品が選ばれました。

### 最優秀賞



「お義父さん、トイレに行きましょね。」そう言って、車椅子の父を多目的トイレに連れていく夫。その日は私と夫、四歳になる子ども、私の姉、そして父と日光へ日帰り旅行に出かけました。いろは坂を登り、明智平で休憩を取りました。夫が父をトイレに連れていってくれている間に、子どもとお団子を買いました。日光の山は、徐々に木々が色づき初め、お団子を食べながらきれいな景色を楽しみました。私の父は、ALSを患い、この時には車椅子が手放せなくなっていました。施設に入所しており、週末になると、私と姉で道の駅やショッピングモールに連れ出していました。車に乗せるのも、だんだん難しくなってきた、あの日光にまで連れていってあげられたのは、夫が居てくれたおかげだと思っています。「きれーい。」子どもも大きな湖を前にはしゃいでいました。明智平を後にし、お昼は中禅寺湖を眺めながら、湯葉御膳をたべました。飲食スペースが二階にあったため、外にある東屋で食べることになりました。父は一生懸命にスプーンを使い自分で食べていたため、夫は子どものお世話をせせと頑張っていました。「もう少し野菜も食べなさい。」「いっぱい食べたら、湖の傍まで見に行こうね。」きらきら光る水面を見ながら、本当に来て良かったと思ったのを覚えています。私の夫は介護士をしています。そのため、父の病院の付き添いや、施設に入所する際の引越なども安心して任せることができました。嫌な顔もせず、トイレなども率先して連れて行ってくれました。今回の日光のように、普段は連れて行くことのできない場所へも、父に負担のないよう計画を立てて連れていってくれました。父は、次の年の桜がきれいに咲いた頃に亡くなりました。たくさん泣きましたが、私の心には、日光で中禅寺湖を穏やかに見つめる父の顔が一番に残りました。「はやく牛乳飲んで、幼稚園遅れちゃうよ。」「靴下はいた?」「休みになったら公園行って、いっぱい遊ぼうね。」これはいつもの我が家の朝です。夫は、夜勤前や遅い出勤の日など、都合がつく限り、子どもを幼稚園へ送迎してくれます。マイペースな子どもを急がしながら、毎日バタバタ出かけていきます。私は毎日仏壇に手を合わせながら、父に報告します。お父さん、今日も尚人さんは頑張ってくれていますよ。安心して見守っていますね。



### 私は昔のカジダンジ 塚本 進 さん

私は、1950年生まれのおいさんです。昭和時代の中期に生まれ、田んぼと小川と山林に囲まれ少年時代を過ごしました。兄弟はいましたが各個人部活等で忙しかったです。私の小学生の頃は、学校から帰ってきて、両親は共働きのため、夕方までは一人で。夕食の出来るまでの間、おやつは自分で作って食べます。得意なメニューは「焼きメシ」でした。今でいうチャーハンです。フライパンを温め、油を加え、冷メシを混ぜ、しょうゆをかけ馴染ませれば出来上がりです。自分で食べるので味見はしません。次のメニューは、時季になると両親が家庭菜園で収穫した、小豆を煮て食べます。子供心でしょうが砂糖は、やや多目でした。洗濯は、母親の仕事をお邪魔した状態でした。ハンカチから始まり、くつ下、手袋等を洗います。大きなタライと洗濯板を使い、棒状の石鹸を使い汚れを落とします。真冬には、ハンカチもくつ下も寒さで、一枚の板状に凍り付きます。じきに太陽の日差しが当たると、ゆっくと通常に戻ります。寒さのため手足の皮膚が、乾燥して裂けたりしました。かゆみと痛みにも耐え、塗り薬でしのいでいました。大晦日の大掃除には、重くて大きな畳を上げて、天日干しをします。又、障子の張り替えは、家中の全障子を外しリヤカーに乗せ、近くの小川に運び洗います。古い障子が小川の水に滲んでいき、段々と紙が剥がれ水流のままに、白い紙が流れて行くのが今でも目に残っています。乾いたら障子張りをしますが、少しずつ手伝う事ができました。やがて大人になり「焼きメシ」作りが功を奏し、プロの調理師となり、小さいながらも、食堂を経営する事が出来ました。又地域公民館等で、「そば打ち」等に貢献出来たと思います。自宅の障子の張り替えは、もちろんのこと、ボランティアとして、友人宅の張り替えも実績として残りました。結果的に家事の炊事、洗濯、掃除等は、自分の生活する上で必須事項ですので、子供の頃から積極的に行動をしたほうが良いと思います。危ないから、ケガをするからと親は心配しますが、温かな目で見守ります。ところが、ここで紹介した事、私が培ってきた事を、私の子供に伝えようと思いましたが、確かに家の新築はしますが、洋間設計のため、畳や障子が見当たらないのです。腕の見せ所が無くなりました。それに小さな食堂を経営していた私が、あの「焼きメシ」を教えようとしても、「今は、今は、コンビニやスーパーが有るから大丈夫だよ」「それにレストランも有るしねー」私の家事、炊事、洗濯、掃除の腕自慢は終わりました。



### ワーク・ライフ・バランスとは

ライフ(家族、友人恋人、趣味、社会生活)を充実させることにより仕事があまく進み、私生活もうまくいくという相乗効果を指す言葉です。

### イクボスとは

職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の両立)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことです。





## カジダン 柳 徳子さん

夫ははじめから炊事してくれたわけではなく家事炊事育児洗濯は女がするものだと、共働きの私は協力してほしいとお願いしても「出来ないんなら勤めやめて主婦専門になれ!!喰わしてやらあ…」

母親が主婦専業だった影響でしょうか。

退職後二人の娘も嫁ぎ家事に協力的な婿殿二人をみて反省したようです。朝のみそ汁昼のサラダ夕食の天ぷらからはじまりレポートもふえました。嫁ぎ先の娘へも実家にもカレーからはじまりくりごはんも届けびっくりされ、ほめられ尊敬されそれが動機となって台所おまかせです。「よく馴れたね。」といわれます。こつはほめること失敗はみのがし。今では感謝「あなた作る人私食べる人これで人生ツープーになった」と。老後夫婦まあまあ仲良くすごしています。

### 夫の作る味噌汁 大好き

嫌いなもの 味噌汁だった私  
実家では にぼしでだしをとる  
それも でっかいにぼしだった  
喰わないと 怒鳴った とうちゃん  
今ならわかる 貧乏の知恵  
にぼしがカルシウムを補うから  
夫の味噌汁は  
かつお節をけずり 味噌は赤白あわせ味噌  
大根の味噌汁  
かぶの味噌汁  
にらの味噌汁  
豆腐の味噌汁  
じゃがいもの味噌汁  
きのこの味噌汁  
ふたをあけると 湯気がかおり  
湯気のむこうに 貴方がいて  
本当は気づかぬが嬉しい人ですが。



### 感謝の気持ち

炊事してくれてありがとう。(毎日)  
洗濯してくれてありがとう。(ときどき)  
買い物に行ってくれてありがとう。(一週間に一回)  
ガンソリ入れに行ってくれてありがとう。(月に一回)  
旅行へ連れてって来てありがとう。(年に二回)一泊  
外食へも連れてって来てありがとう。(月一回)カツイライス  
二人の娘の心配をして来てありがとう。

まごたち  
佑汰 風花 清成の 援助を考えて来てありがとう。(お年玉)  
二人の婿殿の心配してくれてありがとう。  
81歳 むかえられてありがとう。 カンパニー

ゆたんぼ入れて来て来てありがとう  
幸せなやさしいぬくもりを

ありがとう  
ございます



## 菅谷 悦夫さん

私は両親の老化に伴い、会社を退職し家にて農家をしています。家に居ることにより、父親の介護及び家事に関わる機会が増えました。

一番に増えたのは洗濯です。父親の老化に伴い、お漏らし回数も増えたため毎日の日課になっています。

二番目に増えたのはお風呂洗いと布団敷きです。時間的には短いのですが毎日しています。たまにですが妻の帰りが遅そうな時は晩御飯の準備もします。こんな生活なので自分的には他のお父さんよりもカジダンしていると思っています。

介護や家事に携わるようになって感じた事は二つあります。一つ目はこの作業をしても料金が発生しないこと。言い換えれば評価がない。よって毎日この作業を行い頑張っているのに、当たり前作業と化しているのだからありがたい言葉もない。

世のお父さん、たまには嫁さんにねぎらいの言葉や気遣いが必要です。二つ目は子どもが作業に接する機会が増えた事。例えば布団をたたんでいると子供が手伝うと言ってシーツを一緒にたたんでくれます。また、猫にご飯をあげる時間に別作業が長引いていると、代わりに子供が皿を洗って、ごはんをあげてくれます。子供は大人の行動を見ているなあと感じます。

これらを実施したうえでカジダン・イクメン普及には、私は社会的な雰囲気を変える必要があると思います。男女平等とは言え、今でも男は外に出て金を稼いでくる、女は家を守る的な考えは続いています。

私も会社勤めの時はそうでした。設備関係の仕事柄、平日はトラブル対応、長期連休は搬入で稼ぎ時。なので家事・育児をする暇がなく、女がするのが当たり前という考えでした。疲労・ストレスから、休みは家で休ませろという気分でした。世のお父さんはこの考えが大半ではないでしょうか?また世のお母さんも、夫が洗濯している場面を他の人に見られたらいろんな噂が立つとか考えたりするのではないのでしょうか?

私の場合は仕事+親の面倒が追加され、このままでは私自身が成りゆかないと判断し会社を退職しました。幸い田畑があったため現在農業をしています。収入は会社時代の半分以下で現在は貯蓄で賄っています。子供を養うためには稼ぎが必要ですが、介護をしていると外に行けません。会社勤めの際は仕事・家の両立をさせながら生活していましたが、どちらも年を追うごとに責任が重くなっていき、私は交通事故を起こしました。その頃の私の生活は仕事と家の事を、次から次へとやらなくていけない状態で今思えば納期という複数の借金取りに追われているような感覚でした。

退職し、現在農業をしていることで家の方に重点をおいていますが今後の生活を考えると、ずっとこの状態で良い訳はありません。幸い借金がなかったため退職する道がありましたが、世のお父さんは車、家などのローンを抱えているはず。退職という選択肢はないと思います。

このテーマを考え感じた事ですが、もし既に介護と仕事の両立を実施している人がいれば、自分自身のケアもして欲しいと思います。

たまに息抜きしないと壊れます。連続運転の機械のように。そんな事を言ってもどちらもやらなければ生活できないという考えの人もいると思いますが、息抜きしないと私のように交通事故を起こし他人を傷つける事になるかも知れません。それでは元も子もないです。

既にカジダン・イクメンの方、共にごんざりましょう!生涯学習課の方にはカジダン・イクメンの人が集まれる機会を作っていたら、カジダンあるあるや介護こんな風になっていますノウハウの共有などを図りつつ、心に溜まったストレスを開放してあげるのはいかがでしょうか?



## 飯田 孝二さん

「会心の一撃見舞う」は私が好きな歌詞だ。会心の一撃の瞬間は爽快なのである。家事や育児にはそんな瞬間が詰まっていて、機会を求めて猪突猛進の日々であったと感じる。

私は両親共働きの家庭で育ったが、祖父、祖母が同居し面倒をみてくれて、常に家には家族がおり、いつも通りの生活が安心してできる恵まれた環境であった。兄弟や従兄弟にも囲まれ、どこか旅行や買い物に行くといった特別なことはないけれど、楽しかった思い出がたくさん出てくる。猪突猛進のエネルギーは、家族や周りの人、環境が、私と同じ方向を向いて支えてくれ、自己肯定感を育ててくれたおかげと感謝している。

やがて社会人となり、責任を持つ立場になると悩むことも多くなったが、それを支えてくれたのが妻である。最高のパートナーだ。結婚式を挙げる頃に、祖父、祖母が体調を崩してしまった。私は病院の送迎で支えた。この時に支えることができ良かったと感じている。車で、思い出や感謝を伝えることができたからだ。そんな経験から、結婚時に「十年後は、大黒柱になっていたい」と記していた。

そして、我が家でも二人の娘を授かり、私達、夫婦も親となった。私にとっては「カジダン・イクメン」時代の幕開けである。つわりや出産などがつらかったであろう時に添うことしかできなかった為、私の中では、妻を支えたい気持ちは強くなっていた。そして、育児にどんどん手を出した。やはり、初めは不安になることが多かったが、市で開催されている両親学級等で先に学べたことで、気持ちにゆとりを持ってたと感じている。抱っこ、ミルク、おむつ交換、お風呂などができた瞬間はまさに、会心の一撃である。育児中は本当にいろいろなことが起きて、痛恨の一撃を食らうこともあるが、ベビーカーで公園を散歩したり、抱っこや手を繋いで歩くことが私にとっては、帳消しにしてくれる癒しであった。

家事については、会社の5S活動で学べた。私の会社は経営の理念として「会社は社員共同の生活の源泉であり、人間完成の道場である。」としている。これには納得であり、多くのことを学ばせてもらっている。良い職場に就職でき感謝している。しかし、私は料理が苦手である。何度手を出しても会心の一撃が決まらないのである。それに比べ妻は、手際が良くてかっこいい。妻が不在時に困るので父親料理教育などを受講して鍛錬したい。

家事、育児は、自分や子供達の成長に喜びを感じることも多いが、うまくいかないことも多い。しかし、大変だったからこそ、かけがえのない思い出になったりする。総じて楽しいものだ。我が家の子供達は見守ることの方が多くなってきたが、共有することは続けて、会心の一撃を見舞い続けたい。これも私の好きな歌詞であるが「パイタリティーこそ男道」なのである。



## ちょこっとベリー News

今後もこのような講座を開催し、男女共同参画意識の醸成を図っていきたく思います!!

### ☆男女共同参画地域座談会☆



地域の座談会で男女共同参画について勉強会を実施しました。

※出前講座のご依頼は生涯学習課までご連絡ください。

飯貝・飯貝下公民館

### ☆パパと子のふれあい遊び☆



令和2年12月5日(土)実施 市民講座

段ボールのそりで小さなサンタを引いて遊びました。パパとお子さんの絆がより深まりました。

### ☆DV防止講話☆ 令和2年11月11日(水)実施

毎年11月12日から25日までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動期間」と定め、パープルリボンをシンボルに全国各地で啓発運動が繰り広げられています。本市でも11月11日(水)に、家庭教育学級の保護者を対象にDV根絶に向けた取り組みと啓発についての講話を行いました。  
※DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人など親密な関係にある、または以前そうだった者から振るわれる暴力のことです。

勇気を持って相談しましょう

身近な相談窓口 真岡市健康福祉部 子ども家庭課 TEL.0285-82-1113

## 〜真岡とちひめ会〜

### 令和2年度活動

平成30年度に発足した真岡市職員の女性役職者38名の自主研究グループです。活動3年目の今年は、4つのテーマに基づき、分科会を結成し活動を実施しました。

分科会ごとの活動ではありますが、それぞれの分科会での学びや気づきなどありましたので、それらは今後共有しながら、職場で活かしていけるものと考えております。

①新庁舎における女性視点の提案部会  
新庁舎において、来庁者に心地良さや安心を感じてもらえるよう女性視点からの取り組みについて検討しました。

②旧二宮市街地の活性化部会  
「Ninomiya Niche」の活動に協力し、中心市街地の賑わい創出や活性化をともに目指すことを目的に、「Ninomiya Niche」が開催するワークショップへ参加しました。

③人材育成部会  
入庁3〜6年目職員及び係長職、課長補佐職へのアンケート調査を実施し、現在の問題点の洗い出しを行いました。その結果、上司の立場として部下への関わり方の気づきがありましたので、庁内にもお知らせして共有を図ります。

④避難所運営訓練(HUG)部会  
災害時に、市民の方の安全な避難所を確保・運営するため、避難所運営のあり方について担当課とともに検討・協議し、また、HUG(避難所運営ゲーム)を実施しました。



旧二宮中心市街地の活性化部会 R2.12.12実施(左官ワークショップ)



避難所運営訓練(HUG)部会 R2.11.19実施(HUG訓練の様子)